2020年度事業活動報告
特定非営利活動法人　ＷＥ21ジャパンかながわ

【事業の成果】

リユース・リサイクル事業

ＷＥ21 ジャパンかながわ（以下 WE21 かながわ）の一つの柱であるリユース・リサイクル事業は、緊急事態宣言が発令された4月8日から5月31日までと1月8日から2月11日まで、2度にわたり休業を行い、感染拡大防止に努めました。
また、消毒液やレジ前ビニールシートを設置し、換気に努めました。セール時には入場制限をし、毎日定期的に消毒を行いました。バックヤードでも、アクリル板を設置し、時間をずらして食事をとるなど、スタッフやボランティアの感染防止に努めました。
昨年来課題となっていたネットを活用した販売ツール「ジモティー」を開始し、新たな顧客の獲得に努めました。

民際支援事業

新型コロナウイルスの影響で人が集まる事が制限された為、今年度は WE 講座を開催できませんでしたが、WE21 ジャパンの企画でオンラインを使って「森育ちのしょうがパウダー」の現地スタッフと交流会を行い、直接話を聞くことが出来ました。
国内でも休業による雇止めや解雇が起こり、食料を買う事が出来ない人が増え、緊急支援としてフードバンクかながわに募金を行いました。
また、休業によりチョコ募金の開始が遅れてしまいましたが、200 個分以上の募金が集まり、毎年行っている事で地域に浸透していることを再認識出来ました。
新型コロナウイルスの影響は、長年続けてきたフェアトレード品のモンゴルスリッパの終了や、アシーラ石鹸の生産者の解散など、多岐にわたりました。

広報活動

新型コロナウイルスの影響で、チラシを配布することが出来ませんでした。
しかし、ブログの更新やネットを使った販売をしました。
会員に「かながわ便り」を発行し、地域には「WE21 ジャパンかながわニュース」を配布しました。また、タウンニュースに記事が掲載されるなど、コロナ禍での情報発信に努めました。

共育活動

今年度は新型コロナウイルスの影響で、WE 講座等開催することが出来ませんでしたが、ショップでの感染防止対策を徹底するなど、理事会、スタッフ、ボランティアが協力しながら情報共有と、感染防止に努めました。

その他

コミュニティー・オプティマム福祉マネージメントユニットかながわを通して、関係他団体との連携が深まりました。

【事業内容】

１．資源のリユース・リサイクルを推進する事業

『ＷＥショップかながわ六角橋店』『ＷＥショップかながわ大口店』をスタッフ、ボランティアの参加で運営しました。市民から寄付された品物の地域内循環をすすめ、その収益で国内外の支援事業を行ないました。

	【六角橋店】	【大口店】
寄付件数	1,446件	781件
顧客数	6,030名	3,835名
スタッフ	2名	2名（4月～9月） 1名（10月～3月）
ボランティア	28名	16名
事業高	4,767,044円	2,758,840円
1日平均売上	20,612円	12,874円

1）各ショップの活動
(1) 売上目標達成のためセールなどを企画し、実施しました。
(2) 今年度は大口店のみ、きものフェアを開催しました。
2）六角橋店はジモティに掲載し販売につながりました。(3 点　4,950 円)
3）資源の有効活用に取り組み、ファイバーや見切り品を活用しました。
・コロナ感染予防のため講習会を中止。
・リメイク品作成　(187 点　168,930 円)
4）リサイクル（回収）の取組み
(1) 携帯電話、小型家電の回収　（ＷＥ21 ジャパン回収 117 台：かながわ回収 12 台）
(2) 家庭廃食油の回収（20 回 350Kg　CO2 削減 910Kg）
5）グリーンダウンプロジェクトに参加し、羽毛製品の回収
6）ＷＥ21 ジャパン、ＷＥ21 グループ等が開催する研修、イベント情報等に参加しました。
(1) ＪＣＳＮ(日本ﾁｬﾘﾃｨｼｮｯﾌﾟﾈｯﾄﾜｰｸ)のチャリティショップ白書作成のためのアンケート協力
(2) ＷＥ21 ジャパンが主催するＺＯＯＭ講習会、基礎研修に参加にスタッフ、理事が参加
7）かながわ２ショップ間で寄付品のトレード、広報等で連携し、相互研修も行いました。
8）両店ともに新しいボランティア参加。（3 月末　六角橋：実数 28 名、大口：実数 16 名）
9）ショップに寄付されたリサイクル品の中で、見切り品やファイバーはエコものセンター（神奈川県綾瀬市小園 822-1）に移送後、ＷＥ21 ジャパンと契約関係にある故繊維業者(株)ナカノ（ファイバー)、(有）飯室商店（ガラス器)、木村管工（株）(陶磁器）と連携し、最後までリサイクルに責任をもちました。
１１）今年度は新型コロナウイルスに関係した助成金等総額 4,786,857 円を頂いたため、事業の維持が出来ました。

『ＷＥショップかながわ六角橋店』
【日時】通年（日曜･祝日・第 1・第 3 木曜日は除く）
【場所】横浜市神奈川区西神奈川 3-16-1
【従事者】理事 9 人、スタッフ 2 人、ボランティア 28 人
【受益対象者】一般市民
【支出額】6,296,569 円

『ＷＥショップかながわ大口店』
【日時】通年（日曜･祝日・木曜日は除く）
【場所】横浜市神奈川区大口通 7-3
【従事者】理事 9 人、スタッフ 1 人、ボランティア 16 人
【受益対象者】一般市民
【支出額】4,239,475 円

２．アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業

1）世界的なコロナ感染症により、国内はもとより、支援先の人々にも大きな影響が今ももたらされています。長期にわたり、支援してきたモンゴルとフィリピンの二つの事業も終了となりました。東日本大震災（2011.3.11.）支援は福島の放射能から身を守る活動に支援しました。今年度はコロナ禍で救援を求めていた身近な団体にも寄付しました。

2020 年度海外・国内支援助成金　総額　467,097 円
≪助成金・寄付金　250,576 円　　募金　216,521 円≫

＊海外支援助成費　328，972 円　　≪助成金・寄付金 140,576 円　募金 188,396 円≫

支援国		プロジェクト名	金額
コーディリエラ・グリーン・ネットワーク（CGN）	フィリピン	コーヒーのｱｸﾞﾛﾌｫﾚｽﾄﾘｰ栽培による災害に強いコミュニティづくり	30,000 円
幼い難民を考える会（CYR）	カンボジア	幼稚園事業	47,556 円
		「村の幼稚園」保育者の給与手当	50,000 円

		給食募金	12,254 円
WE21 ジャパン	日本	しょうがパウダー輸送費支援	10,000 円
日本国際ボランティアセンター　(JVC)	アフガニスタン	識字アクション	3,020 円
日本国際ボランティアセンター　(JVC)	アフガニスタン	＜みらい貯金箱募金＞ 識字アクション	26,980 円
フードバンクかながわ	日本	コロナ募金 ～子ども食堂や学生支援～	33,972 円
日本イラク医療支援ネットワーク（JIM-NET）	イラク	＜チョコ募金＞ イラク医療支援・シリアの難民・福島の子どもたちと支援	115,190 円

＊東日本復興助成費　128,125 円

≪寄付金 100,000 円　　募金 28,125 円≫

支援先	県名	プロジェクト名	金額
いわき放射能市民測定たらちね	福島	＜3.11 をわすれない＞ たらちね検診センター	48,643 円
		店頭募金	28,125 円
		たらちね検診センター	51,357 円

＊緊急支援助成費　10,000 円　　≪募金 10,000 円≫

支援先	国名	プロジェクト名	金額
ザ・ピープル	ラオス	ラオス古着輸送支援	10,000 円

２）WE21 かながわからの参加者はいませんでしたが、コロナ禍の為、支援先視察は中止となりました。
３）各支援連絡会、報告会等に実会場あるいはオンラインで参加し、ＷＥ21 グループ、地域 NPO との連携を図りました。
４）フェアトレード品の取り組みを通して、フェアトレードへの理解を深め、現地の人々の生活向上支援に協力しました。　　＊フェアトレード品取組み総額　193,430 円
５）キャンペーン等に取組み、支援先の現状を伝えました。
　(1) 貧困なくそうキャンペーン（10 月 2～17 日間）
　(2) 日本イラク医療支援ネットワーク(JIM-NET)主催の「チョコ募金」(2 月 12 日～3 月)
　(3)「３．11 をわすれない」に取組む
６）オレンジのみらい貯金箱募金の実施
７）新たな支援方法として、JIM-NET「チョコ募金キックオフチャリティーイベント JASTPEACE！」の DVD を購入。
　また、新たな支援として CYR の 2021 年度カンボジア「村の幼稚園」事業の 1 ヶ所の保育者給与に支援を行いました。(5 万円)

【日時】通年
【場所】横浜市神奈川区
【従事者】理事９名、スタッフ４人（事務局スタッフ１名を含む）　ボランティア 44 人
【受益対象者】福島の市民、アジア等の市民（フィリピン、カンボジア、アフガニスタン、イラク、シリア、パレスチナ、ネパール）
【支出額】695,983 円

３、地域の市民の国際的な意義の自覚を促進する事業

支援活動を推進するため、アジア地域の人々（特に女性）の自立支援に携わっている人や現地で活動している人を招いて「ＷＥ講座（報告会、学習会)」を開催予定でしたが、コロナのため実会場での講座開設はできませんでした。オンラインを使っての講座開設は、環境と技術が伴わず、開催実施に至りませんでした。

【日時】通年
【場所】横浜市神奈川区
【従事者】理事９名、スタッフ４人、 ボランティア 44 人
【受益対象者】一般市民
【支出額】0 円

４．この法人の事業の広報普及を図る事業

ＷＥ21 かながわの活動を広めるために、次のとおり情報の受発信をしました。

１）「ＷＥ21 ジャパンかながわニュース」は年２回発行し、発行枚数は 2,600 枚です。
　・NO.65 号　2,000 枚： ６月発行（生活クラブへの折り込み）
　・NO.66 号　　600 枚： ３月発行（配布は４月）

２）チラシの作成、ホームページ等への掲載
　(1) セールやコロナ対策をお願いする寄付品募集などのミニチラシを作製し、店内配布や掲示をしました。(総合計枚数　1,850 枚)
　(2)かながわのホームページのショップブログをタイムリーに更新できました。

３）支援先のパネルやポスター、チラシ、リーフレット、ＤＶＤなどを使い、ショップ内の広報に活用しました。

４）会員に対し、「ＷＥ21 ジャパンかながわだより」を発行しました。

５）タウンニュースに広告を載せ、広く地域に周知し、取材を通じて沢山の記事が掲載(＊)されました。

【日時】通年
【場所】横浜市神奈川区
【従事者】理事９名、スタッフ４人、ボランティア 44 人
【受益対象者】一般市民
【支出額】4,305 円

５．その他、第３条の目的達成に必要な事業

１）平和な社会の構築に向けての活動
　6 月 11 日から 8 月末まで店頭でコロナ募金を行いフードバンクかながわに寄付を行いました。また、感染拡大を防止する為、休業、時短営業、感染防止対策として、マスクをしていないお客様に配る、レジ前のビニールシートの設置、定期的なアルコール消毒など、市民やスタッフ、ボランティアの健康に留意しました。

２）多文化共生の地域づくり
　多文化共生を広めるために「神奈川区に多文化共生をすすめる会」に参加し活動しました。
　　・区役所 5F 交流室にて「国際交流・情報サロン」
　　・反町駅前ふれあいサロン「外国の方への情報・相談コーナー及びイベント」

３）他団体及び地域との連携
　(1) コミュニティオプティマム福祉マネージメント・ユニットかながわ（以下ユニットかながわ）に参加し、神奈川区内の生活クラブ運動グループとの連携を図りました。
　(2) 神奈川区 区民活動支援センター主催の活動に参加し、区民への広報にも努めました。
　(3) ユニットかながわのフードバンク学習会に参加予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で学習会が中止になりました。
　(4) 横浜市神奈川区社会福祉協議会に登録し、ボランティア保険加入、会議室利用と活用しました。

【日時】通年
【場所】横浜市神奈川区
【従事者】理事９名、スタッフ４人、 ボランティア 44 人
【受益対象者】一般市民
【支出額】0 円

６．組織活動

１）会員目標は 52 名でしたが、50 名に留まりました。

２）理事会

(1) 今年度も事業活動の執行に対し、責任を持って活動しました。

(2) ショップスタッフとともに、ショップ間の連携を図り業務運営の充実を図りました。

(3) 理事会を毎月１回以上開催しました。

(4) 議長を理事が担いました。

３）事務局

(1) 事務局作業をはじめ、打合せやスタッフの作業に事務所が活用されました。

(2) 認定ＮＰＯ法人の更新が 1 月 25 日に承認されました。

(3) 認定更新作業に伴い、過去 5 年間にわたる資料の整理を行いました。

４）ショップスタッフミーティング

(1) 毎月 1 回開催し、各ショップの課題解決に取組み、理事会への提案などショップの連携を図りました。

(2) 理事会へ提案し、理事会で決定したことを実現しました。

(3) ＷＥ21 グループにおける物流ルールを共有しました。

５）リメイクチーム（リライフ工房　布）

毎月１回定例会を開催しリメイクチーム活動の報告、予定などを共有してきたが今年度はコロナ感染予防のためリメイク講習会、布草履講習会、その他の講座の企画・準備をすることが出来ませんでした。

６）かながわ支援チーム

支援先担当者が積極的に支援先報告会、連絡会に参加し、理事会への報告を行うと共に、支援先との窓口になりました。2 月に海外支援担当者で LINE ミーティングを行い、支援金や今後の支援について話し合いました。

７）ボランティアミーティング

コロナ感染予防のため毎月の開催は出来ませんでしたが、多くのボランティアの参加がありました。活発な意見を頂き、活動の理解を深め、ショップ運営を円滑に行うことが出来ました。理事会での方針をボランティアと共有しました。

８）ＷＥ21 ジャパン、ＷＥ21 グループとの連携

メーリングリスト等を使って、情報の共有を行いました。

９）ＷＥ21 ジャパン、ＷＥ21 グループの会議、研修、講座、イベント等へ参加し、運営に役立てました。

(1) グループ会議に参加し、組織運営に役立てました。

(2) WE21 ジャパンが主催する講座「コロナ禍と SDGｓ」に参加しました。

１０）昨年に引き続き就労支援として女性１名を受け入れました。

１１）インターンシップの受け入れは在りませんでした。

１２）地域の中学生職業体験は新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

【日時】通年

【場所】横浜市神奈川区

【従事者】理事 9 名、スタッフ 4 人、 ボランティア 44 人

【受益対象者】一般市民

【支出額】444,907 円

７．その他

「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」（イオン東神奈川店）に登録すると、ＷＥ21 に投函されたレシートの 1%がギフトカードで贈呈される。備品等の購入に活用。